

SOS ニュース

< 職場のトラブルとメンタルヘルス >

『上司の思考—推測 減らぬ残業』

残業の削減や育休の取得が進まないのは、「上司の意識」が原因 ー。

内閣府が男女 7000 人を対象に行った「ワーク・ライフ・バランス推進のための意識調査」で、こんな実態が明らかになった。

残業に対する上司のイメージは「頑張っている」だと思っている人は、1 日の労働時間が 12 時間以上の正社員では 53%、10 時間未満では 38%。

「責任感が強い」では同じ条件で其々 39%、30%だった。労働時間が長い人ほど、上司が残業を好感していると受け止めていた。

男性の家事・育児参加については、「残業が少なくなること」が必要と答えた男性が正社員では最も多かった。また、一方、女性の仕事と子育ての両立については、「配偶者の積極的なサポート」を挙げる女性が 78%に上る一方、実際にサポートがあったとしたのは 49%にとどまった。内閣府男女共同参画局推進課は、「制度の充実とともに、職場環境や意識の改善を図る必要がある」と話している。

参考までに、関連する別の調査で 15～39 歳の独身女性の 3 人に 1 人が、専業主婦になりたいと希望している事が分かっている。